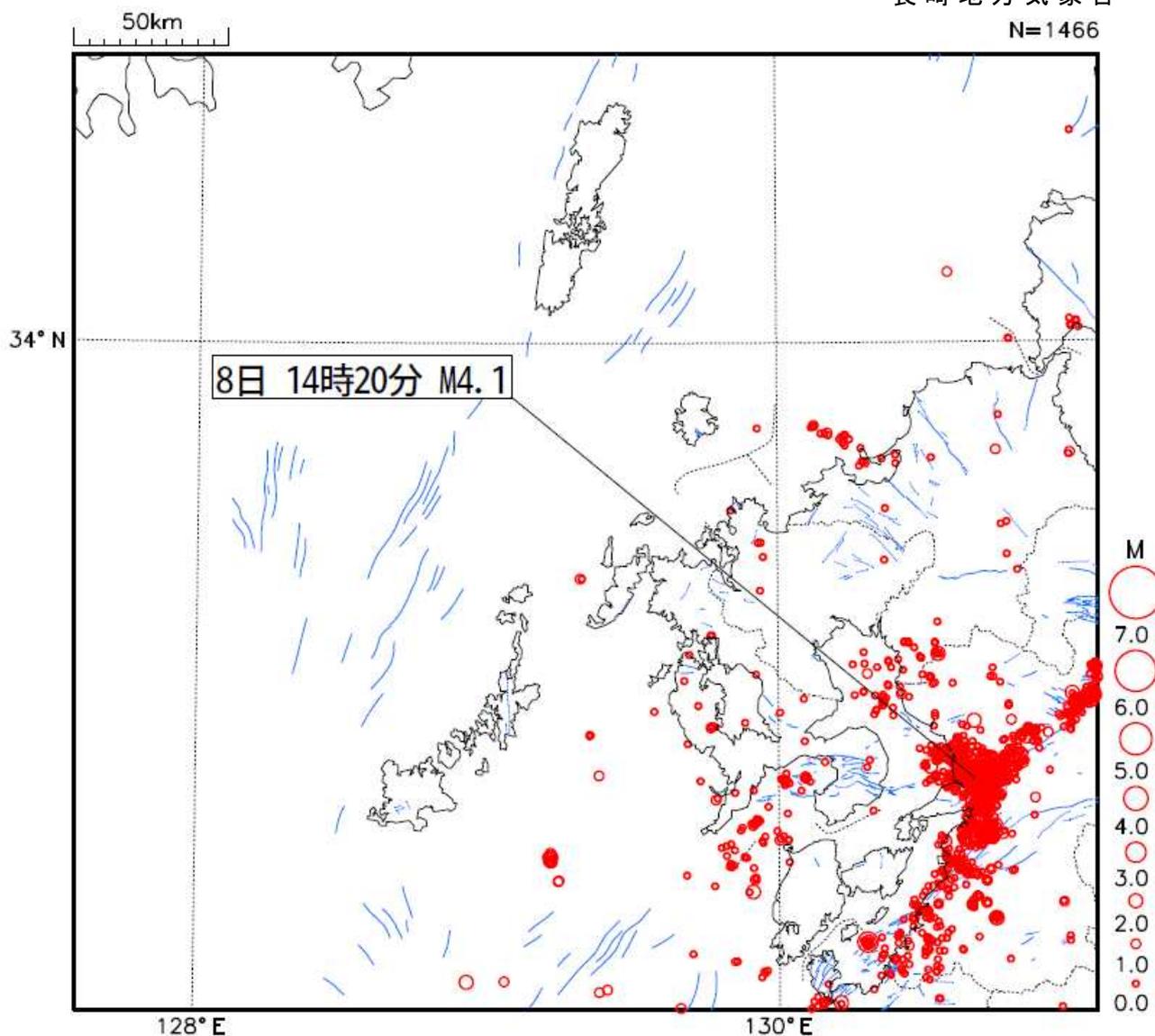


# 長崎県の地震活動概況 (2017年9月)

平成 29 年 10 月 11 日

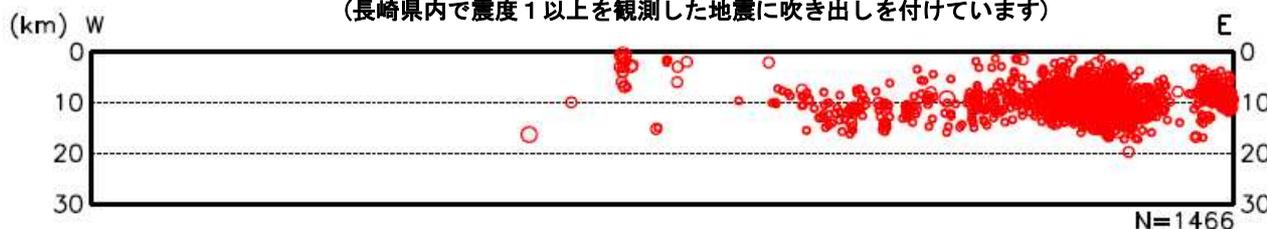
長崎地方気象台

N=1466



震央分布図 (2017年9月1日~30日、深さ30km以浅)

(長崎県内で震度1以上を観測した地震に吹き出しを付けています)



断面図 (2017年9月1日~30日、深さ30km以浅)

(震央分布図を南の方から見た断面図です)

- ※ 本資料の震央分布図の青色のラインは活断層を示す (活断層のデータは新編日本の活断層による)。
- ※ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合 (IRIS) の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成している。

## 地震活動の概況（2017年9月）

9月に長崎県内で震度1以上を観測した地震は1回でした（8月：2回）。震央地名は熊本県熊本地方でした。詳細は以下のとおりです。

### 平成28年（2016年）熊本地震

8日14時20分に熊本県熊本地方で発生したM4.1の地震（深さ14km）により、熊本県で震度4を観測したほか、九州地方で震度3～1を観測しました。長崎県では長崎市、諫早市、大村市、島原市、雲仙市、南島原市で震度1を観測しました（図1）。

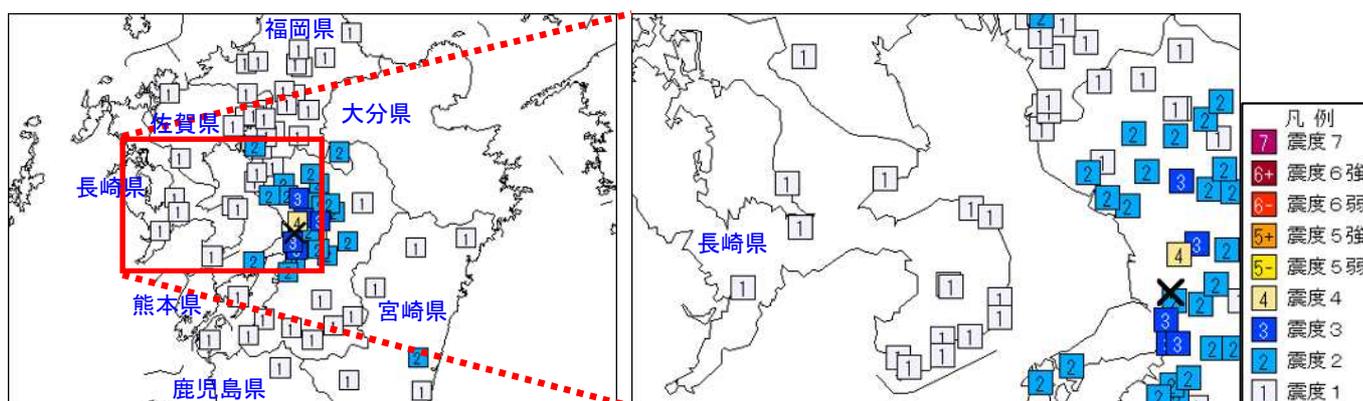


図1 震度分布図（左図は市区町村別、右図は観測点別、×：震央）

9月8日14時20分 M4.1

表1 この地震により長崎県内で震度1以上を観測した地点

No. 1	2017年09月08日14時20分 熊本県熊本地方 32° 43.4' N 130° 40.4' E 14km M4.1				
長崎県	1	長崎市元町* 諫早市多良見町* 諫早市高来町* 大村市玖島* 島原市有明町* 雲仙市国見町 雲仙市小浜町雲仙 雲仙市雲仙出張所* 南島原市口之津町* 南島原市南有馬町* 南島原市北有馬町* 南島原市西有家町* 南島原市布津町* 南島原市深江町* 南島原市加津佐町*			

注1) 震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

注2) \*を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

## 11月1日（水）は緊急地震速報の訓練に参加しましょう！

気象庁では、11月1日※に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間はごくわずかであり、その短い間に、あわてずに身を守るためには日頃からの訓練が重要です。

この機会に身を守る行動を体験してみましょう。

※本訓練は、例年11月5日の津波防災の日（世界津波の日）に行っていますが、本年度は日曜日にあたるため、より多くの機関や団体等が参加できるよう、11月1日に実施します。

### ➤ 訓練実施日時

平成29年11月1日（水） 10時00分頃

### ➤ 訓練への参加方法

- ◇ お住まいの自治体の防災行政無線や商業施設などで緊急地震速報が放送される場合があります。
- ◇ 気象庁ホームページで公開している訓練用動画や、スマートフォンの訓練用アプリを使ってみましょう。
- ◇ 緊急地震速報を受信する端末をお持ちの方は、訓練用の緊急地震速報や受信端末に備わる訓練機能を利用してみましょう。

11月1日(水)は 津波防災の日

# 緊急地震速報の訓練に参加しましょう！

あなたはその時、自分の身を守れますか？

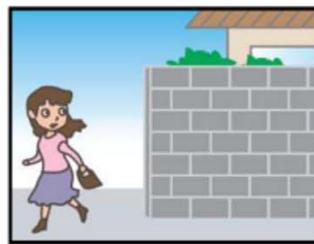
- ・平成29年11月1日(水)10時00分頃に、訓練に参加する地方自治体の防災行政無線や、一部商業施設などで緊急地震速報の放送があります。
- ※訓練の緊急地震速報は、テレビ・ラジオの放送や、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール（エリアメール）には送れません。（一部のコミュニケーション機器を除く）
- ・普段から、家具の固定など地震への備えをすすめ、津波避難場所なども確認しておきましょう！

国土交通省 気象庁

緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。



頭を守って、安全な場所に避難！



危ない場所から離れて！



お店では、あわてず係員の指示に従って！

### シェイクアウト訓練

- シェイクアウト訓練とは、地震の際の安全確保行動1-2-3「まず低く、頭を守り、動かない」を身につける訓練です。当日、シェイクアウト訓練が行われる自治体にお住まいの場合は積極的に参加してみましょう。



気象庁マスコットキャラクターはれるんと Shakeoutキャラクターシェイククエイクくん

詳しくは気象庁ホームページをご覧ください。

緊急地震速報 訓練

<http://www.data.jma.go.jp/svd/eeew/data/nc/kunren/2017/02/kunren.html>

## 「南海トラフ地震に関連する情報」の発表について

－平成29年11月1日から運用開始－

近い将来、南海トラフ沿いの広い範囲で大規模な地震の発生が懸念されています。

政府は、中央防災会議防災対策実行会議（以下「実行会議」という）の下に「南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対応検討ワーキンググループ」（以下「WG」という）を設置し、南海トラフ沿いの地震観測や観測結果の評価体制、観測・評価に基づく地震防災対応のあり方について検討してきました。平成29年9月26日にその結果が実行会議に報告されました。

WGの報告では、南海トラフ沿いで発生する大規模地震につながる可能性がある現象を観測し、その分析や評価結果を防災対応に活かすことができるよう、適時的確な情報の発表に努めることが重要であると指摘されています。また、国・地方公共団体はあらかじめ当面の暫定的な防災体制を定めておく必要があることも指摘されています。

気象庁は、WG報告と実行会議を受け、新たな防災対応が定められるまでの当面の間、南海トラフ全域を対象とした地震発生の可能性を評価する「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催し、「南海トラフ地震に関連する情報」の運用を平成29年11月1日から開始します。

### 「南海トラフ地震に関連する情報」について

情報名	情報発表条件
南海トラフ地震に関連する情報（臨時）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○南海トラフ沿いで異常な現象（※）が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合</li> <li>○観測された現象を調査した結果、南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合</li> <li>○南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が相対的に高まった状態ではなくなったと評価された場合</li> </ul>
南海トラフ地震に関連する情報（定例）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合において評価した調査結果を発表する場合</li> </ul>

※：南海トラフ沿いでマグニチュード7以上の地震が発生した場合や東海地域に設置されたひずみ計に有意な変化を観測した場合などを想定

○本情報の運用開始に伴い、東海地震のみに着目した情報（東海地震に関連する情報）の発表は行わない。

「南海トラフ地震に関連する情報」の発表については、気象庁のホームページをご覧ください。

[http://www.jma.go.jp/jma/press/1709/26a/nankai\\_joho.html](http://www.jma.go.jp/jma/press/1709/26a/nankai_joho.html)

「南海トラフ地震に関連する情報」が発表された際の政府の対応については、内閣府のホームページをご覧ください。

[http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/nankai\\_taiou.pdf](http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/nankai_taiou.pdf)

「WG」の報告については、以下のホームページをご覧ください。

[http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taio\\_wg/taio\\_wg.html](http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taio_wg/taio_wg.html)